# 第３回　昭島市男女共同参画推進委員会
# 議　事　要　旨

〔日　時〕　令和６年８月８日（木）18：30～20：30
〔場　所〕　アキシマエンシス校舎棟　男女共同参画センター
〔出席者〕
１　委員：　金野美奈子委員長、柴田邦臣副委員長、上川純子委員、佐藤晴美委員、長谷部高史委員、
牧野愛子委員、向井翔兵委員、森川民子委員

２　事務局：滝瀬子ども家庭部長、吉田男女共同参画・女性活躍支援担当課長、渡邉男女共同参画センター担当係長

３　傍聴者　１名

〔配付資料〕
・令和５年度進捗状況委員評価及び意見一覧（目標Ⅲ、Ⅳ）

〔議事要旨〕
１　開会
資料の確認

２　議題
（１）男女共同参画プラン令和５年度進捗状況調査結果について
◇目標　３あらゆる暴力の根絶と被害者支援【昭島市配偶者暴力対策基本計画】７配偶者等からの暴力（ＤＶ）の防止及び被害者支援の充実①暴力の未然防止・早期発見　№38家庭・地域・学校における人権教育・暴力を容認しない意識づくりの推進について、11月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間にあわせ犯罪被害防止講習会を開催し、こちらは防災安全課との共催で実施した。定員は30名、参加は10名であった。また、そのセミナー報告を「HI,あきしま」で掲載し、相談先の啓発を実施した。②若年層への意識啓発と教育の推進では、女性活躍支援担当が、「HI,あきしま」へデートＤＶについての注意喚起の記事を掲載し、中学校に配付した。また、その記事の掲載時に連絡を取ったセイシルからデートＤＶチェッカーの提供を受け、男女共同参画センターでは常時、また11月のパネル展やイベント開催時に配布を行っている。③配偶者等からの暴力などによる被害者の安全確保と自立支援の№41高齢者・障害者の被害者への支援では、福祉総務課においてコロナ禍が落ち着き、徐々に対面での活動が再開され、生活・高齢・障害福祉部会と合同で、研修会を実施することができた。８あらゆる暴力に対する相談支援・関係機関の連携・防止啓発の推進①性犯罪及びストーカー被害等の暴力防止の啓発・相談支援№46秘書課女性の人権ホットライン強化週間。こちらは11/12～25に内閣府で実施している「女性に対する暴力をなくす運動」期間に対応したものである。この期間は女性活躍支援担当でも力を入れて啓発している。②ハラスメント防止のための啓発・相談支援№48ハラスメント防止に関する広報・啓発の推進№49ハラスメント被害者に対する相談支援の充実では、女性活躍支援担当が令和4年度の「a」評価を「b」の評価に致した。これは、新たな啓発方法の検討が必要と考えたものである。
目標４　すべての人が安全・安心に暮らせるまちづくり９　生涯にわたる男女の健康の包括的な支援①リ

プロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康／権利）についての理解の促進№51健康課　女性の健康づくり教室はテーマの検討により参加者数増加があった。10　配慮を必要とする人に対する支援と多様性を尊重する環境の整備（NEW）①高齢・障害等により配慮を必要とする人に対する相談支援、№59介護福祉課の相談者が令和４年度は20,650件5年度が20,377件と減少したが、健康課、障害福祉課の事業では、参加者が微増するなどし、それぞれの担当課で継続的に対応している部分となっている。②ひとり親家庭等への支援の充実№63生活困窮世帯等の子どもへの支援、福祉総務課の取組内容は昨年と同様だが、昨年の推進委員会で、素晴らしい取り組みであり「c」ではなく「b」評価で良いというご意見をいただいている。また、こちらは、社会福祉協議会を通して市内各所でも学習支援活動が行われているところである。11防災・環境分野等のまちづくりにおける多様な視点の反映、①防災・復興体制のまちづくりにおける女性参画の推進の№64防災安全課の区分が充実となっている理由は、防災会議を２回開催し、委員についても女性の委員を２名委嘱、市女性職員の防災安全課への配置、８名の女性職員が構成員である防災検討部会を設置したということである。②地域防災活動における男女共同参画の推進№65福祉総務課は昨年「d」であったが、個別避難計画の策定に向けた庁内検討委員会の実施等で「c」評価とした。12地域活動における男女共同参画の推進 ①地域団体・社会団体等への活動支援②地域活動等への男性の参画の推進では、№68、№70の生活コミュニティ課で意見交換会を実施できなかったため「c」評価としたとのことであるが、６部署での意見交換会については各部署での団体支援の現状、事業等の情報を共有することで、より横断的な支援ができるよう不定期で行っており、令和５、６年度で、地域活動の有機的な連携の促進を図るため、地域コミュニティ活動連携推進計画の策定を予定し、令和５年度については、計画策定にあたり、地域コミュニティ活動についての市民アンケートの実施や、庁内関係部署への市民団体等の調査について準備を進めて情報共有を図った。また令和６年度については、その結果も踏まえながら６部署に健康課も加えて情報を共有するとともに、地域団体のネットワークづくりや支援体制の充実を図るべく、令和６年７月31日時点で既に２回の意見交換会を行っているとのことであった。
目標４の施策について４年度は新規事業が２件あり、事業数が増加したが、５年度は継続事業に取り込まれ２件減少となった。

（２） 男女共同参画プラン目標Ⅲ、Ⅳの評価について

目標Ⅲ７配偶者等からの暴力（ＤＶ）の防止及び被害者支援の充実★重点施策

①暴力の未然防止・早期発見

☆各委員からは、・市として取組への強い姿勢を感じる、・広報等を目にすることが多く、社会、市が暴力は容認しないという意識を感じる、・事業に沿った多彩な取り組みがなされている、・ワンストップ対応となるよう関係機関との連携を、・学校、家庭、地域が連動した取組がすばらしい等のご意見のほか、長谷部委員はスポーツ界の暴力等についてご意見いただいているが、いかがか。【金野委員長】

◆自分はサッカーの指導員をしている。昨年度も指導者による子どもへの暴力事件が発生している。皆さんが思っているより、大人からの暴力、暴言が今なお行われている。昭和の世代の指導者による指導方法が引き継がれないよう、負の連鎖を止めなければいけないと思っている。【長谷部委員】

◆自分の家は学校近いので、スポーツ活動をしている人達を見かけるが、煙草を吸いながら自転車に乗っている指導者の後ろを子ども達が走っている。子どもに携わる方の場合、不用意な喫煙もいかがなものかと思う。ＤＶ等の言葉が浸透してきていることに関しては、「優」で良いと思うが、子どもへの意識付けの重要性の認識の浸透が必要と思う。【牧野委員】

◆評価：良【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：優【向井委員】◆評価：優【森川委員】

◆評価：優【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定:　優【金野委員長】

②若年層への意識啓発と教育の推進

☆委員からは、・新たな試みを行っている点が評価できる、・相談先案内カードやポスターの設置は良いと思うが設置場所に課題残る等のご意見のほか、・カラオケ店でのポスターの掲示を断られた理由の質問があったが、いかが。【金野委員長】

◇カラオケ店はあちこちから掲示依頼が来るためか、本社から全て断るように言われているとのことであった。しかし、門前払いではなく受け取ってはいただけたため、今年度もどのような啓発ができるか検討したい。また、駅の掲示板に貼ったポスターを見たということで、相談者も来所されたこともあるため、引き続き取り組んでいきたい。【事務局】

☆さらに啓発を進めていただきたい。【金野委員長】

◆評価：優【長谷部委員】◆評価：良【牧野委員】◆評価：良【向井委員】◆評価：良【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】◆評価：良【上川委員】

☆評価の決定: 良【金野委員長】

③配偶者等からの暴力などによる被害者の安全確保と自立支援

☆委員からのご意見は、・取組の具体的な内容が見えてきません。・支援、相談体制などの実績を評価できる、・自立への道筋を一緒に考えていく支援は素晴らしい、の他に、向井委員から具体的な取り組みの内容を記載してほしいとの意見があるが、やはりプライバシー等の関係で詳細は記載できないのであろうか。【金野委員長】

◇そのとおりである。最後まで支援を行っていくのだが、ご本人の意見を尊重しながら対応しているところである。具体的には数字を出しづらいが検討していく。【事務局】

☆向井委員のご意見のとおり、やや抽象的という感がある。配慮しながらでも具体的に教えていただけると、取組等が理解しやすいと思われる。【金野委員長】

◆私の評価軸は、主観的というより、客観的に報告書の記載に基づいて評価をしているので、担当課が事業を実施している、そして、点数合計のパーセンテージが高いという事であれば、そこを見るしかないが、どう取り組んだかわからない、充足しているかどうかもわからない状態では、評価がつけにくい。【向井委員】

☆可能な限り検討いただきたい。【金野委員長】

◆№41介護福祉課の安否確認、通報件数は、令和４年度272件、５年度230件で3.5件/月減で大きな変化はなかった様なので現状体制で対応にあたって欲しい。調べたところ、通報時の対応マニュアルがあり、通報後２日以内に訪問確認し対応を進め、役所が動くとなっていたので、きちんと対応する体制がとれていると思い、「優」とした。【森川委員】

◆ストレス社会で相談も増えるかと思い、引き続き体制を充実してほしいと思う。【上川委員】

☆相談体制が充実すれば、利用者も増えるという事はあるかもしれないが、相談が増えることが必ずしも悪い事ではないということも言える。相談が少ない場合は情報が届いていないとも考えられるので、数字で見るのは難しい事ではあるが、引き続き注視していきたい。【金野委員長】

◆評価：可【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：優【向井委員】◆評価：優【森川委員】

◆評価：優【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定:　優【金野委員長】

④ 被害者の安全確保のための関係機関の連携

☆委員からは、・相談体制の質の向上など評価できる、・受講者数が維持されていることを評価する等のご意見をいただいた。【金野委員長】

◆職員の定数があるので、受講者の増減は少ないと思うが、資料閲覧研修が、どの位効果があるのか不明と

いうところがある。今後、内容がどうなっていくかということを検討していただきたい。【佐藤委員】
☆アンケートの結果は積極的な意見が多いようなので、別な形で確認できるようであれば検討いただきたい。【金野委員長】
◆評価：良【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：優【向井委員】◆評価：優【森川委員】
◆評価：優【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】
☆評価の決定：　優【金野委員長】

8あらゆる暴力に対する相談支援・関係機関の連携・防止啓発の推進

①　性犯罪及びストーカー被害等の暴力防止の啓発・相談支援

☆委員からは、・地道な取組を行っていると感じる、・都や警察と連携し即時対応できる状態になっていることが大事である、・行政の窓口として被害者の問題を整理し関係機関へつなげる役割を果たしている、・関係機関との連携、自立に向けた支援をさらに拡充していただきたい等のご意見があった。【金野委員長】
◆ナイーブな部分の件数なので、0件なのかと思うし、また、警察に連携しているということもあるのだろうが、相談件数が少ないようであれば、他の部署と共同で行っても良いのではないかと思った。【上川委員】
☆ほかに担当できる部署はあるのだろうか。人権問題の一環として対応しているという事か。人権の窓口でも相談できるという周知の方法もお考えいただきたいところである。また、女性というくくりだけで良いのかとのことだが、運動期間に重点的に行っているが、通常的にも相談を受けているという事である。【金野委員長】
◆評価：良【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：優【向井委員】◆評価：優【森川委員】
◆評価：良【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】
☆評価の決定：　優【金野委員長】

②ハラスメント防止のための啓発・相談支援

☆各委員からは、・様々な角度から対応している、・男性へのハラスメントについても考慮されるようになっている、・認識の固定を目指していただきたい、・職員研修は高い受講率を維持されている、・カスタマーハラスメントについて研修を実施され、・対応されていることが良い等のご意見をいただいた。・その中の市職員のハラスメント相談窓口についていかがか。【金野委員長】
◆外部機関の窓口も掲載しているとはいえ、相談窓口が庁内というのは潜在的な問題をあぶり出せるのか少し疑問が残る。やはり、言い出せない方がいるのではないかと思う。スポーツハラスメントの話になるが、中学3年生が外部のクラブチームでサッカーをしていて、サッカーの公式戦と学校行事の体育大会がぶつかり、コーチから「学校行事の参加を選んだら、サッカー推薦の話はどうなるか分かっているね。」と言われるようなことがある、とのことである。本人の自由意志なら大会を選んでも良いかもしれないが、大人が介入し、立場のある者から下の者へ伝えたら、パワーハラスメントである。啓発について取り組んでいる自治体は少ないと思うが、昭島市が積極的に取り組んでいる姿勢を見せていただきたい。【長谷部委員】
◇今年度の後半にセミナー開催を検討しているところである。委員の皆様にも是非ご参加いただきたい。【事務局】
◆評価：良【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：良【向井委員】◆評価：良【森川委員】
◆評価：良【佐藤委員】◆評価：良【上川委員】
☆評価の決定：　良【金野委員長】

目標Ⅳすべての人が安全・安心に暮らせるまちづくり

9生涯にわたる男女の健康の包括的な支援★重点施策

①リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康／権利）についての理解の促進

☆各委員からは、・新規事業が昨年度より減少した理由は何か、・ライフステージに沿った体の関心事をいくつかの講座に分けてはどうか、・「オイテル」の利用状況を担当課で評価してほしい、・生理用品の配布など先進的に実施されていて良い、等のご意見が出たがいかがか。【金野委員長】

◆№51健康課について、内容に興味があった。年代ごとに体の関心事の講座があると良いと思った。女性に偏っているようではあるので、男性にも目を向けていただいても良いかと思うが、そうなると参加者が減るのではという思惑もあるかもしれないが、その講座に女性が参加することもあるかもしれない。【森川委員】

☆確かに、性別にこだわらなくても良いかと思う。【金野委員長】

◆№52指導課であるが、低年齢化が進んでいると思うので、早目に対応していく必要があると思う。【上川委員】

◆№51秘書課の取組みが進んでいる様に見えなかった。実施予定のことがあれば、今後の予定欄に記載していただきたい。【牧野委員】

◆評価：良【長谷部委員】◆評価：良【牧野委員】◆評価：良【向井委員】◆評価：良【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】◆評価：良【上川委員】

☆評価の決定：　良　【金野委員長】

②年代や性差に応じた健康づくりの支援

☆各委員からのコメントは、・妊婦の面接及び乳児家庭の訪問で毎年高い実施率を達成しており、担当の方々の労力には頭が下がる、・歯の健康が体の健康にも繋がることが認知されつつあるためこの取組に注目している、・取組の内容、実施の件数も素晴らしい、・職員の過負荷になっていないか人員配置が心配、・地域訪問型の実施は考慮されていて良い、・新規参加者が増えない状況についての分析はどのようなものか、・高齢社会において孤立しないような体制をとっていただきたい等のご意見である。【金野委員長】

◆やるべきことは全てやっていると思うが、やらなければならないことをやっているのであろうということで、「良」とした。関心がない人をどう導くかが課題であると思う。【佐藤委員】

◆前年度課題の男性参加者の増加は改善されたのか。【森川委員】

◇男性の増加は改善されていないとのことであった。【事務局】

◆評価：優【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：優【向井委員】◆評価：優【森川委員】

◆評価：優【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定：　優【金野委員長】

③こころの健康に関する支援

☆各委員からは、・自死遺族の方々へのサポートも充実させていただきたい、・一つの砦として継続していただきたい、・相談が単発で終わらず、継続していく事は相談者の心の拠り所として大切だと思う、・業務量に見合った人員配置を検討していただきたい等のご意見がある。【金野委員長】

◆精神疾患の方の親の会が、社会福祉協議会主催なのか開催しているようである。そこに参加された方がとても良かったとのことであった。その他にも相談窓口は多くあるが、家族が相談出来ることの周知も少ないと感じる。本人も辛いが、支える家族もかなり疲弊する。例えば「人権身の上相談」だけだと具体的ではない。周知をするにも伝わるように考慮していただきたい。【牧野委員】

☆どういう人が相談できるのかという、具体的で分かりやすい名称等も検討していただきたい。【金野委員長】

◆自死遺族のサポートが昭島市は手薄だと思う。周知とサポートをお願いしたい。【長谷部委員】

◆東京都全体で自死は増えていると思うが、相談の対応は市の職員が行うのか。【向井委員】

◇電話相談は委託かもしれないが、対面は保健師である。【事務局】

◆件数が増えると、体制の維持が大変かと思う。相談を受ける側のケアも留意していただきたい。【向井委員】

◆相談の対応は、精神保健福祉士か保健師か、素人には出来かねることだと思うが、研修等実施しているのか。【森川委員】

◇対応は保健師である。対象の方をどこの部署で受け付けるかわからないため、健康課はゲートキーパー研修を市の職員等に実施している。十分かどうかは測れないが、継続的に実施し、該当の方を相談窓口へつなげられるようにしている。【事務局】

◆大変な数である。職員を育てるような助成等があると良いと思う。【森川委員】

★保健師は専門家であり、そこへどうつなげるかという事である。専門職なので、市が育てるというより、専門職を雇用する、拡充するということになるかと思う。一般の職員も対応することはあるので、その時に対応できるための研修なので、学ぶ必要性を当委員会として伝えていただきたい。【柴田副委員長】

☆継続件数ということなので、こちらも必要な方にいかに来ていただくかということを検討していただきたい。【金野委員長】

◆ゲートキーパーの話であるが研修を強くお願いしたい。私の職場では、生徒や保護者を相談窓口につなぐのであるが、専門家といえども相性がある。窓口の職員の表情や言葉かけでその先が変わってくるので、寄り添っていただきたい。【佐藤委員】

◆評価：良【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：良【向井委員】◆評価：優【森川委員】

◆評価：優【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定: 優【金野委員長】

10配慮を必要とする人に対する支援と多様性を尊重する環境の整備 (NEW)

① 高齢・障害等により配慮を必要とする人に対する相談支援

☆各委員からは、・取組の内容自体は以前から継続されているものであり、一定の成果を上げている、・事業の参加人数から十分良い方向に向かっていると判断できる、・ネーミングの不明瞭さと５つの支援センターとも、他機能施設の一室にあるためわかりにくい。認知度向上の工夫をお願いしたい等のご意見であるが、いかがか。【金野委員長】

◆包括支援センターという名称は決まっているので仕方がないが、包括等の名称が難しい。案内はチラシ等を見かけるので困っている方がどこかに、繋がれば良いのかとは思う。【森川委員】

◇包括支援センターの数が増えているので、地域割が変わって行くが、本人や家族から相談があった場合には、担当のセンターをご案内するようにはなっている。【事務局】

◆評価：良【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：良【向井委員】◆評価：良【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】◆評価：良【上川委員】

☆評価の決定: 良【金野委員長】

② ひとり親家庭等への支援の充実

☆各委員からは、・限られた予算内で、新たな取組を模索している様子が窺える、・経済的支援やマンパワー支援など、今を乗り切る取り組みを継続してほしい、・専門家の力を借りることは良いと思う、・他地区での開催もできないか模索してほしいとの意見があった。№63福祉総務課の学習支援について、社会福祉協議会のボランティア団体も実施しているという事であれば、報告書に記載していただけると分かりやすいかもしれない。良い活動なので引き続き実施していただきたい。

◆評価：優【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：優【向井委員】◆評価：優【森川委員】

◆評価：優【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定: 優【金野委員長】

11防災・環境分野等のまちづくりにおける多様な視点の反映

①　防災・復興体制のまちづくりにおける女性参画の推進

☆各委員からは、・十分であるとは言い切れないと思う、・新規の女性による取り組みも実施された。・引き続き女性の参画を進めていただきたい等のご意見である。【金野委員長】

◆以前から比べると進んだとは思うが、女性の参加が進まないと先に進まないと感じており、まだ足りないと思い「良」とした。【向井委員】

◆去年よりも進んでいると思った。また、ここは事業が一つしかないため、報告書を信じて「優」とした。【牧野委員】

★私は今、災害情報支援という仕事の関係で、震災のあった能登の支援のため往復している。基本的に避難所は生活なので、女性が避難所の運営をしっかりできるという体制を組めるかどうかということが、重要なところを分ける。お互いどう支えられるかが大切である。今回注目すべき点は昭島市地域防災計画の修正について女性の視点からの防災検討部会を設置し、女性が点検しなおしたことである。他の分野でも行っても良い事だと思うが、特に生死を分ける地域防災計画では重要なことだと思う。応援の意味を込めて「優」評価でも良いのではないか。【柴田副委員長】

☆重要な新しい取り組みということなので、引き続き重要事項として、推進していただきたい。【金野委員長】

◆評価：良【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：良【向井委員】◆評価：優【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定: 優【金野委員長】

② 地域防災活動における男女共同参画の推進

☆各委員からは、・避難所運営マニュアルが災害時の実情に見合っていない内容が散見される、・どのような状況になると自己評価は上がるのか、・地区ごとの防災、勉強会等もあるのか、等のご意見をいただいた。他に№65防災安全課へのどのような状況になると自己評価は上がるのでしょうかという問いに、目標値の27.0％を目指すためということであったが、目標が１％到達しなかったという部分より、下がってしまったことを評価したことが重要である。【金野委員長】

◆避難所運営委員会は被災時に諸々の設備の設営等にも対応しなければならないので、女性の参加もそうであるが、若い方の参加も必要である。また、私自身が震災を体験しており、震災の直後は非常に厳しいということを経験しているので、マニュアルが実情に合っていないことを伝えたい。【長谷部委員】

★被災した際は、かなり混乱する。事前にその場に何回か集まって、若い人も含め実際に起こったらどうするかというシミュレーションをして、関係性や地域力を高めていくことが有効だと思う。そのためにも、簡潔かつ有効なマニュアル作りに努めていただきたい。【柴田副委員長】

☆その辺りも念頭に置きながら、担当課には引き続き取り組んでいただきたい。【金野委員長】

◆評価：可【長谷部委員】◆評価：可【牧野委員】◆評価：可【向井委員】◆評価：可【森川委員】

◆評価：可【佐藤委員】◆評価：良【上川委員】

☆評価の決定:　可　【金野委員長】

③ 都市計画・環境分野における男女共同参画の推進

☆各委員からのご意見は、・女性の委員が増加している傾向は評価できますが、各審議会の開催回数が少ないため、市民の意見がどれほど反映されているかは不透明である、等のご意見である。【金野委員長】

◆評価：良【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：良【向井委員】◆評価：良【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】◆評価：良【上川委員】

☆評価の決定：良【金野委員長】

12地域活動における男女共同参画の推進

①地域団体・社会団体等への活動支援

☆各委員からは、・社会福祉協議会のボランティア団体に対するサポートが近隣自治体より弱いという声がある。また、・№68生活コミュニティ課の意見交換会がなぜ実施できなかったのかというご意見は多くいただいているが、令和５年度については、計画策定にあたり、地域コミュニティ活動についての市民アンケートの実施や、庁内関係部署への市民団体等の調査について準備を進めて情報共有を図れたためであり、令和６年度については、その結果も踏まえながら６部署に健康課も加えて情報を共有するとともに、地域団体のネットワークづくりや支援体制の充実を図るべく、令和６年７月31日時点で２回の意見交換会を行っているとのことなので、事業が止まっているわけではない、むしろ積極的に実施されていると考えられる。【金野委員長】

◆社会福祉協議会のボランティア団体等へのサポートが手薄で団体の負担が大きいようである。団体を初めても継続できない、人が育たないということもある。また、市からの依頼と社会福祉協議会からの依頼では、団体への経済的な面も含めてサポートが違う。２重構造も問題である。【長谷部委員】

◆№68生活コミュニティ課の意見交換会が主要な取り組みであり、それを実施していないということで評価した。報告書に書いてあることを読んで評価しているため、実施していることがあれば、必ず報告書に記載していただきたい。また、今後の予定もあれば記載していただきたい。記載が無ければ、事業実施がないと読み取り、評価せざる負えなくなる。【牧野委員】

★これまで長く蓄積されてきた地域団体の活動については、昭島市の伝統でもあり、セールスポイントだと思う。その分この位できて当たり前という部分もあるかと思うが、委員会として後押しする必要がある、情報共有は当然行われるべきであり、できる体制にある。そこで今後は、男女共同参画のために何をするのかということで、一歩踏みこんで、努力をしていただきたいことを報告書において伝えたい。【柴田副委員長】

☆柴田副委員長のご意見のとおり、ぜひ踏み込んだ取り組みを期待する事について記載していただきたい。【金野委員長】

◆評価：可【長谷部委員】◆評価：可【牧野委員】◆評価：可【向井委員】◆評価：良【森川委員】

◆評価：可【佐藤委員】◆評価：良【上川委員】

☆評価の決定：　可【金野委員長】

②地域活動等への男性の参画の推進

☆各委員からは、やはり、・№70生活コミュニティ課の意見交換会がなぜ実施できなかったのかがここでも取り上げられているほか、・幅広い年齢層の方々が参加されており、素晴らしい取組である、・男性の参加率等など良い方向に向かっていると思う、・次世代へ語り継いでいくための人材育成として興味深い等のご意見である。引き続き、是非積極的に進めていただきたい。【金野委員長】

◆評価：良【長谷部委員】◆評価：良【牧野委員】◆評価：良【向井委員】◆評価：良【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】◆評価：良【上川委員】

☆評価の決定：　良【金野委員長】

３　その他

◇次回の委員会は、10月４日（金）に開催である。その際は、総合的な評価及び提言のまとめとして、報告書の内容についてご審議をお願いする。10月30日に委員長から市長への報告を予定している。引き

続きよろしくお願いしたい。【事務局】
☆それでは、第３回の推進委員会を終了させていただく。次回もどうぞよろしくお願いしたい。ありがとうございました。【金野委員長】